

広州日本人学校通信

広州日本人学校



横田 亮

12月号

Japanese School
of Guangzhou

日中の懸け橋に 中国現地校との交流会

今年2018年は日中平和友好条約締結40周年です。中国各地で日中友好40周年記念イベントや文化交流活動が開催されています。

広州日本人学校では、中学部は日本語を学んでいる華聯（カレン）大学の学生と、小学部は広州市内にある東風東路小学との交流を続けて行ってきました。年2回、双方の学校を訪問し合うことで、互いの文化や伝統に触れています。コミュニケーション能力を高め、国際感覚を磨くことが目的です。広州日本人学校では、全学年週1時間中国語の授業があります。日本語が堪能な中国人の先生2名が、中国語を担当しています。

中学部は11月28日に、華聯大学との交流会を広州日本人学校で行いました。中学部の生徒は、普段の授業から中国語での交流を想定した会話表現を学習しています。名刺交換や自己紹介をした後、百人一首や福笑い、すごろく、凧作りを行いました。

小学部は11月27日に、東風東路小学を訪問しました。東風東路小学は各学年10学級以上というマンモス校です。今回の交流内容は、シルクロードを紹介する詩を書き写したり、中国（広州）紹介ビデオを見たり、中国の伝統文化である京劇のお面作り、吹き絵体験、広州観光名所の色塗り、一緒に外でハンカチ落としをしました。この交流会では中国語を話せる子が通訳となり大活躍しました。互いに学んでいる英語やジェスチャーを使って交流する児童もたくさんおりました。

日本人と中国人の児童生徒が同じ空間で共に活動することにより、言葉の壁を越えて、お互いに学び合う姿を見ることができました。今後も互いの文化を尊重し、日中の懸け橋になる。そんな人に育つことを期待しています。

